



営農NEWS



レタスやハクサイの病害防除を徹底しましょう

レタスやハクサイ栽培では、秋雨前線の停滞および台風 21 及び 22 号による強風や降雨、圃場冠水等で、病害の発生しやすい圃場環境となっています。

病害虫発生予報 11 月号（県病害虫防除所）によりますと、10 月下旬現在、レタス菌核病の発病株率は平年より高く、発生地点率も平年よりやや高い、さらに腐敗病の発生量は平年より多い状況となっています。また、ハクサイ軟腐病の発生量は平年より多く、べと病の発生量も平年並～やや多い状況とのことです。

レタス菌核病は、例年、中生・晩生の作型では 10 月下旬頃の結球期以降から発生が多くなる傾向がありますので、今後とも予防や発生初期の防除に努めてください。前作で菌核病が発生していた圃場に連作した場合は、特に注意が必要です。腐敗病も収穫期近くになって降雨が多くなると、急速に発病進展しますので、予防に努めてください。

ハクサイ軟腐病は、強い降雨や風、虫の食害痕、管理作業のときの傷口等から感染しやすく、多湿のときに発病進展しますので、収穫期近くになっても注意が必要です。また、べと病や白斑病は、結球開始前にも発病しますが、主には結球期以降に、黒斑病も結球期以降に発病進展しますので、圃場をよく観察して、初期防除に努めてください。

【病害防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は、発病を助長しますので、排水対策など改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬液が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考に収穫前日数に十分注意してください。

表 1 レタス、非結球レタス菌核病の主な防除薬剤（平成 29 年 11 月 2 日現在）

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
アフェットフロアブル	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000～3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内 収穫 14 日前まで / 3 回以内
スミレックス水和剤	○		1,000～2,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内

表 2 レタス（非結球レタスを除く）腐敗病の主な防除薬剤（平成 29 年 11 月 2 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
スターナ水和剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内
バリダシン液剤 5	800 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
アグレプト水和剤	2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内

表 3 ハクサイ軟腐病の主な防除薬剤（平成 29 年 11 月 2 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
スターナ水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
ソータルWDG	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
アグリマイシン-100	1,500～3,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
バリダシン液剤 5	500 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
Zボルドー	500 倍	- / -

表 4 ハクサイべと病、白斑病、黒斑病の主な防除薬剤（平成 29 年 11 月 2 日現在）

薬剤名	べと病	白斑病	黒斑病	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ダコニール 1000	○	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
プロポーズ顆粒水和剤	○	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
ストロビーフロアブル	○	○	○	3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
オーソサイド水和剤 80	○	○	○	600 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内
				600～1,200 倍	
ホライズンドライフロアブル	○			2,500～5,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
ロブラール水和剤		○	○	1,000～1,500 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内

使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



JA全農いばらき

生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040